

【富裕度プロファイリングデータ\_因子】

| No. | 因子名               | 特徴   |
|-----|-------------------|--|
| 1   | 都心の富裕層、若年単身層混在エリア | 20歳代～30歳代の人口構成比が高く、単身層が多い。地価が高いエリア。共同住宅が多く、就業人口が多い。年収、貯蓄高の構成比に大きな特徴が見られないが、1平米あたりの貯蓄高が高い人口密集エリア。 |
| 2   | 都市型富裕層            | 年収、貯蓄レベル共に高い。働き盛りの40歳代以下の人口構成比が高く、持ち家世帯数が多い。   |
| 3   | 近郊の低所得ニューファミリー層   | 10歳代以下の人口比率が高いニューファミリー主成分。年収、貯蓄レベル共に低い。郊外に得点の高い箇所が多く、居住面積は広め。公団住まいが多い。                           |
| 4   | 子育てを終えた団塊層        | 団塊層の人口構成比が高いエリア。2～3人世帯が多く、子育てを終えた世帯が多い。高齢層が多いことから非労働力人口も高め。                                      |
| 5   | 郊外の文教地区           | 10歳代後半から20歳代後半の人口構成が高い。非労働力人口が高いことから就学人口が高い。就業者に関しては都市型サービス産業就業者が多い。                             |
| 6   | 地方の高貯蓄核家族         | 主成分得点の高い箇所が郊外に点在しており高齢者が多い。高貯蓄層も点在している。  |
| 7   | 働き盛りの中流層          | 就業人口が多く、壮年層が多いエリア。中流階級が多い。   |
| 8   | 都市型の高所得、低貯蓄層      | 年収レベルが高いが、貯蓄は高くない。地価の比較的高い都市部に点在。  |
| 9   | 社宅住まいが多い高資産層      | 社宅住まいが多く、貯蓄レベルが高い層。  |